

# コロナ禍での遠隔授業

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大や岡山県の非常事態宣言を受け、感染予防のため遠隔授業が増えています。看護技術の演習や試験、対面授業でなければ効果が上がらないもの以外は、学生は在宅でZOOMでの遠隔授業を受けています。学生や教員の感想を聞いてみました。



↑ 小児看護学の講義

学生はパワーポイントの画面やカメラを通して赤ちゃん人形を見ながら学習しています。画面に学生の顔を映して、質問するなど、できるだけ双方向の授業ができるよう工夫しています。

《学生》

- ・公共機関で通学しているため感染が怖かったので、在宅で授業を受けれて良かったです。
- ・長時間の通学時間がなくて時間に余裕ができました。
- ・教室で授業を受けるよりもパワーポイントが見やすく、声も聞き取りやすい。
- ・学校に行って、もっと看護技術の練習をいっぱいしたい！
- ・友達にもっと会いたいです。



## 《教員》

- コロナ禍とはいえ、できるだけ通常の学習内容が補完できるよう、慣れない遠隔授業ですが取り組んでいきたいと思います。
- ZOOMでのグループセッションなども取り入れることができるようになりました。今後も講義内容を検討していきます。
- 通常の授業より仕事量が増えました。学生のためにがんばります。

今後感染状況がどうなるかわかりませんが・・・  
学生の皆さんが学習に専念できるように努めていきたいと思っています。



↑ 解剖学の講義  
講師が書く黒板や人体の骨格模型を見ながら  
教科書で確認し学習しています。